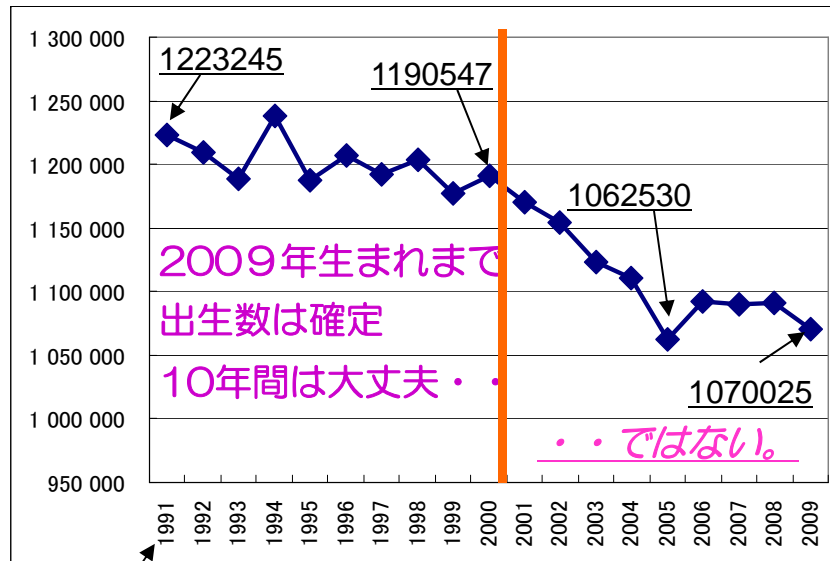


人口減少時代の大学、大学入試、生き方の研究

キーワード[大学入試, 入試戦略, 将来設計]

教授 門馬 甲兒



1991年生まれが今年を受験

人口減少は全国一律に起きるのではない。

この10年を過ぎると際限ない
18歳人口の減少期に入る。

2050年の日本の
人口推計は約1億人(2500万人以上の減)

何を考え、どう生きていくべきなのか、
一緒に考えていきましょう。

内容:

あと10年を過ぎると、受験人口は際限なき減少期に入ります。その時、大学入試はどのようになるのか。大学入試はどのように変化していくのか。どのようにあるべきなのか。そして大学そのものはそれらの時代の変化を受けて、そのように変化していくのか、又していくべきなのか、を考えています。

大学から見るとそれは将来の大学像を考えることになるでしょう。高校から見ると、どのようにして大学に合格するのか、させるのかという、入試戦略と言うこととなります。では、入試に合格しやすくなるからと言って、学ばなくて良いということにはなりません。高校教育の現場を経験してきた者として、大学と高校の両方の立場を理解しつつ研究をしていきたいと考えています。

これからの日本は少子高齢化の時代で、本格的な人口減少期に入ります。反面、世界的には、人口爆発が続くでしょう。どうして私たちは学ぶ必要があるのか、どのように時代を見て、自分の人生を考えていったらいいのでしょうか。

様々な状況を考えながら、高校生、高校教員そして父母の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

分野: 学部共通(アドミッションサービス)
専門: 大学入試、入試戦略

E-mail : monma@yz.yamagata-u.ac.jp
Tel : 0238-26-3435
Fax : 0238-26-3435